
「救急外来における院内トリアージの適正化にむけた e-learning を活用した取り組みとその効果」に関するお知らせ

当院では、救急外来の診療体制をより良くするため、救急車以外で受診された患者さんの診療録情報を活用し、来院時の緊急度判断をより適切に行うための看護師向け教育の効果を検討する研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長の許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2025年1月1日～3月31日、2026年1月1日～2026年3月31日の期間に埼玉医科大学病院救急センターを救急車以外の方法で受診した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当院の救急外来における院内トリアージの適正化に向けた e-learning を活用した取り組みの効果を検討し、院内トリアージの質向上につなげることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年11月30日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年11月14日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

救急外来を救急車以外で受診された患者さんの診療録情報を用います。具体的には、救急車以外で来院した患者さんの人数、来院時に緊急度の確認が必要であった件数、実際に緊急度の確認を行った件数、その実施状況、緊急度の区分ごとの件数を集計します。加えて、来院時の緊急度の判断が適切であったかを確認するため、対象期間において一定の条件を満たす症例の中から無作為に抽出した症例について、主訴、来院時の体温・脈拍・血圧・呼吸状態など、緊急度の判定内容等を用いて評価を行います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院救急センターにおいて、研究責任者 で

ある立脇 健二が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

救急外来を救急車以外で受診された患者さんの診療録情報を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 看護部 立脇 健二（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 看護部 伊集院 真奈美（外来責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 看護部 五十嵐 弘明
- ・ 埼玉医科大学病院 看護部 長澤 文也
- ・ 埼玉医科大学病院 看護部 渡辺 琴乃
- ・ 埼玉医科大学病院 救急科 高平 修二（救急センター長）
- ・ 埼玉医科大学病院 救急科 足助 和馬

4. 試料・情報の管理責任者

- ・ 埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

5. 試料・情報の提供方法等について

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

担当者（実施者） 埼玉医科大学病院 看護部（救急センター）立脇 健二

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

TEL: 049-276-1199

E-mail: tatewaki.kenji@1972.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：救急外来における院内トリアージの適正化にむけた e-learning を活用した取り

組みとその効果

○研究責任者：埼玉医科大学病院 看護部（救急センター） 立脇 健二